

安全データシート

1. 化学品および会社情報

製品名 油マルチクリーナー
販売元 株式会社阪和
住所 堺市中区毛穴町 140-1
緊急連絡先 06-6797-4095

2. 危険有害性の要約

危険・有害性の分類

危険、有害物質 : 苛性ソーダ

危険有害性の要約

GHS分類

人健康有害性

金属腐食性:区分 1

急性毒性 (吸入: ミスト) 区分 3

皮膚腐食性・刺激性 区分 1A

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 1

特定標的臓器・全身毒性

(単回ばく露) 区分 1 (呼吸器系)

特定標的臓器・全身毒性

(反復ばく露) 区分 1 (歯、呼吸器系)

吸引性呼吸器有害性 区分 1

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 強アルカリ性物質

吸入すると重篤な危険 (ミスト)

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

吸い込むと呼吸器系の障害

長期又は反復ばく露による歯、呼吸器系の障害

飲み込む、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

3. 組成及び成分情報

組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

含有物 : 界面活性剤
苛性ソーダ 4%未満
キレート剤
ケイ酸塩類

4. 応急処置

目に入った場合：コンタクトの有無を確認し、着用している場合は外して直ちに多量の清浄な水で15分間以上洗目をする。洗眼後直ちに医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服を速やかに脱ぎ捨て大量の流水で洗い流す。異常が認められる場合はすぐに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：吐かせずに多量の水または牛乳を飲ませ、直ちに医師の診断を受けてください。

5. 火災時の措置

消火剤：水、二酸化炭素、乾燥土、泡

火災時の対応：火の元から即座に離し安全な場所へ移動させる。出来ない場合は周りに散水する。また保護具を着用し消火する。

6. 漏出時の措置

少量の場合は出来るだけ回収した後大量の水で洗い流す。大量に漏出した場合は環境中に漏出しないようにしたあとに水で薄めた後に中和処理をして回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

【取り扱い】

できるだけ換気をよくして取り扱う。保護具を使用して使用する。

保護メガネ、保護手袋、使用条件によっては保護マスク、保護服などを使用する。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

【保管】

可燃物、その他の酸化剤、強酸から離して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度：未設定

ACGIH：TLV-STL 2mg/m³

【保護具】

呼吸用保護具 防毒マスク

保護眼鏡 保護眼鏡

保護手袋 ゴム手袋

保護具 作業着、耐薬品性前掛け等

9. 物理的および化学的性質

物理的及び化学的性質

形状：液体

PH：13±1

色：黄色透明

臭い：ほのかな界面活性剤の匂い

液性：アルカリ性

引火点：引火しない

10. 安定性および反応性

苛性ソーダを使用しているが安定性は高い。軽金属や一部の金属と反応する可能性があるため接触させない。

また 50 度以上の高温になるとミストでる可能性がある。

11. 有害性情報

危険・有害性の分類：腐食性物質・急性毒性物質・その他有害物質

官報公示整理番号：化審法公示番号 1-410。

CAS NO. : No. 1310-73-2

接触した場合は眼、皮膚に対して激しい反応がある。眼に関しては洗わず適切な処理を取らないと失明の可能性もある

12. 環境影響情報

河川や池などに影響があるため直接流さないようにする。

13. 廃棄上の注意

PH を 7 に調整し規制条例に基づき処理をする

14. 郵送上注意

国連分類 クラス 8 腐食性物質

国連番号 1824

容器漏れのないことを確かめ損傷、転倒、落下のないように積み込む。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 施行令別表第 1

有害液体物質（Y 類物質）

船舶安全法 危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1 腐食性物質

港則法 施行規則第 12 条危険物告示腐食性物質

航空法 施行規則第 194 条危険物告示別表第 1 腐食性物質

道路法 施行令第 19 条の 13、車両の通行の制限 16. その他情報

25% 苛性ソーダ GHS MSDS より作成、この商品は苛性ソーダ 5% 未満の商品です)